

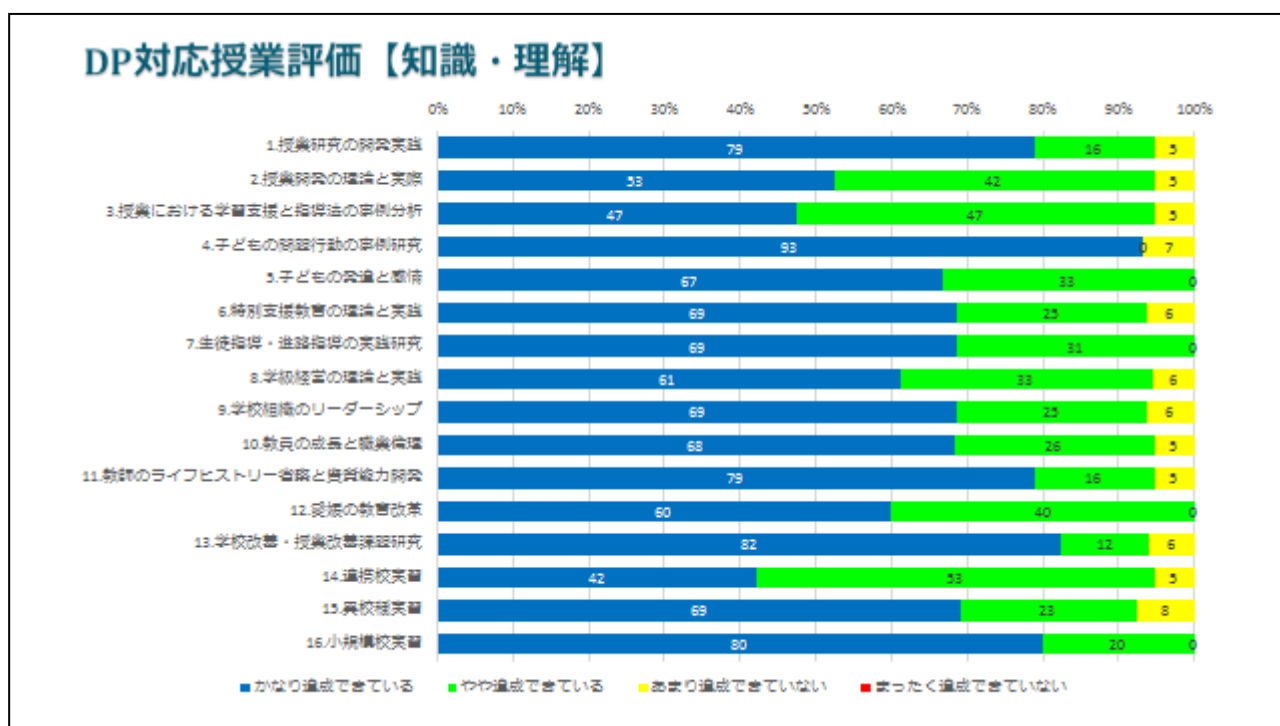
授業科目 「授業研究の開発実践」
 担当教官 平松 義樹
 科目区分 教育実践研究
 受講生 15名

1 授業の目的と概要

本講座の目的は、授業研究と研究授業のそれぞれの特徴を知り、教員の授業力向上のための方策を探ることにある。

3 学生の自由記述による授業評価

○ 今日はとにかく授業研究のこれまでの自分の取り組みに「目から鱗」でした。感想をただ出し合うだけでなく、ねらいに迫る話



2 学生によるアンケート調査結果

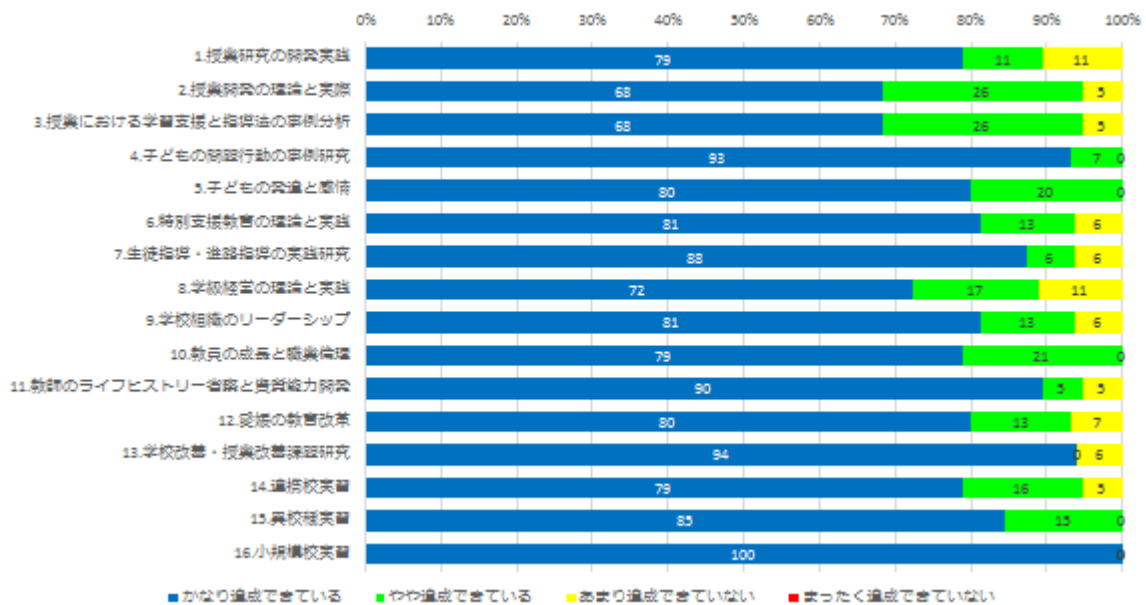
二つのグラフからもわかるように、「知識・理解」、「関心・意欲・態度」の観点では、かなり高い評価を得ることができた。「技能」「思考・判断」の観点は、これら二つと比べるとやや満足度が低くなっており課題が残る。

この授業においては、松山市教育研修センター指導主事と連携協力して授業を創った。さまざまな工夫がみられたこのコラボは、学生にとって有意義であったように思う。ただ、日程調整や評価等の課題も残った。今後、改善の余地がある。

し合いが大切だとは思っていましたが、こんなに視点が明確になったのは初めてです。ぜひ来年現場に戻ったら、今回の資料を基にさせていただいて取り組ませてください。大変参考になりました。

- 今回の授業では、私がこれまで考えたことのない観点からの話が多く、驚くとともに新たな考え方として知ることができました。子ども達に対して、さまざまな見方をもつことは大切だと思いました。そうした見方を授業の中でどう実践していくのか、これから学んで行きたいです。
- これまで計 8 回の講義は、私にとって「教

DP対応授業評価【関心・意欲・態度】



師とはどういう存在か」「授業はどのようにあるべきか」「授業研究の方法」等、学んでいるつもりでも学べていなかったことを知ることができた。やはり教師は、いくつになってもどれだけ勉強しても、満足してはいけない。むしろ満足してしまえば終わりだという感情が芽生えてきた。この気持ちをいくつになっても持ち続けて、教員生活を送っていきたい。

- とても素敵な授業をありがとうございました。先生が特にストレートマスタのみなさんや教採を受ける皆さんにメッセージを伝えていることがよくわかりました。私も3つの「あ」を子ども達に伝えます。そして「教師で生きる覚悟」を持った仲間を大切にするリーダーを目指します。
- 私が教職大学院へ進む道を決めた理由の一つが平松先生の講義を受けれると思ったからです。予想通り学びが多い内容と感動のある授業でした。私も小中勤務経験があり、小学校6年で担任した児童といっしょに城川中学校に赴任した経験があります。同じ経験をもつ教師ですが、今日の授業で自分

らしい教師になる覚悟ができました。ありがとうございました。

- 今日は感動しきりの90分間でした。「私は教員になっていいのか」を考えるために大学院に来ました。「もっとお金の稼げる仕事にすればいいのに」と何度も言われました。ですが、今日の先生のお話から、教師の楽しさと素晴らしさを再び知りました。やはり、私は「教師」がいいです。紆余曲折は経りましたが、そう覚悟しました。
- 平松先生の授業はいつも心に響くものがあるなあと、今日の講義ですごく感じました。それは先生がこれまで経験されてきたことを思いを持って、先生の言葉で伝えてくださっているからかなと思います。私も先生のように、子どもの心に響く教師でありたいと思います。まずは自分の思いを伝えていきます。ありがとうございました。

紙面の都合で全員分を掲載できないが、多くの学生の心に響く授業を創造することができたと自己評価している。課題は来年度の授業で改善したい。